



<6月号>

朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校
令和4年6月1日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1
TEL 048 (464) 7575
FAX 048 (467) 4742

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

備えあれば

校長 杉山 巖

5月30日の朝日新聞に「**迫る豪雨 いつどこへ避難**」という特集記事がありました。「**雨の季節に入る前に避難のタイミングの確認を、自分の命は自分で守る姿勢を**」とまとめられていましたが、皆さんは豪雨災害を意識したことはあるでしょうか。

先日の中間テストの日は午前中、激しい雨が降っていました。生徒の皆さんはテストに集中して外の様子は気にならなかったかもしれませんが、黒目川を見るとかなり水位は上昇し、土手から土手まですっかり川幅は広がっていました。川が氾濫するまでには余裕はありましたが、普段は人が散歩をしている河原は濁流の下となり少し心配したところです。これからの季節は**ゲリラ豪雨**や**台風による大雨**など、**水にまつわる自然災害が心配**されます。**2019年の台風19号が上陸した際は床上浸水**した中学校もありました。**ゲリラ豪雨**で道路が冠水して通行止めになることは、毎年のように市内では発生しています。

この三中は、今まで大きな被害を被ったことはなかったと思いますが、それでも大きな台風が来たときに現在のJAあさか野の付近が**冠水**し、万が一を考えて生徒を午前中で下校させたことはありました。

そのときは二本松通りが冠水しているので新高橋を渡っての下校は不可能で、三原方面に帰る生徒は通行可能な**上流の泉橋を渡らせて下校**させた記憶があります。また三中の校舎は黒目川の河川敷なので、水害の心配が常にあり**朝霞市の洪水ハザードマップ**では荒川、黒目川が氾濫した際は、**3m~5mは浸水すると予想**されています。**可能性は低いかもしれませんが、「絶対にない」と言い切れない以上、災害を意識して備えておかなければなりません。**

ところで三中は緊急避難場所として指定されていますが、**洪水の際は浸水想定区域なので×**とされています。また市内の全小学校は地域防災拠点に指定されていますが、中学校は指定されていません。そして三中に浸水の可能性があり**全校で避難しなければならないときには、朝霞第六小学校へ避難**することになっています。ただ、「豪雨で外に出ることが危険である」など状況によっては、全校生徒で3階4階、あるいは4階のみなど**垂直避難**となる場合も想定されます。

さて、学校にいれば先生の指示に従えばいいですが、登下校中に「急にゲリラ豪雨になり、目の前の道路が冠水していて通れなくなった」、そんな状況に遭遇したらどのように対応したらよいでしょうか。

毎日の生活の中では、洪水や冠水だけでなく様々な災害が身に降りかかる可能性があります。始めに「自分の命は自分で守る姿勢を」と書きましたが、その通り**命以上に大切なものはありません**。持ち物よりも、衣服よりも学校よりも命が大事です。「**備えあれば憂い無し**」です。災害に対して**多くの情報を収集して、自分の命を自分で守れるように備えて下さい。**